横 浜 市 記 者 発 表 資 料

平成 29 年３月 21 日
健康福祉局保健事業課

「第１回　横浜健康経営認証」認証事業所が決まりました！

横浜市では、従業員を企業の貴重な人的資本ととらえ、従業員の健康づくりを積極的に行うことで、生産性や組織力の向上を図る経営手法である「健康経営」の考え方に基づき、健康経営に取り組む企業を応援するため、昨年 11 月に「横浜健康経営認証」制度を創設し、認証を希望する事業所の募集を行いました。（平成 28 年 11 月２日記者発表）

このたび応募総数 34 事業所から、認証事業所 28 事業所が決定しましたので、次のとおり認証式を行います。認証式に引き続き、基調講演、交流会（共創ラボ）を予定しておりますので、取材をお願いします。※基調講演、交流会の詳細は裏面をご覧ください。

認証式概要

日時：平成 29 年３月 27 日（月）（受付　午後１時 15 分～）
　　第１部　認証式　午後１時 50 分～午後２時 20 分
　　第２部　基調講演　午後２時 30 分～午後３時 20 分
　　第３部　交流会（共創ラボ）午後３時 30 分～午後５時 30 分
会場：ワークピア横浜　（住所：横浜市中区山下町 24－1）
　　第１部・第２部　いちょう／第３部　かもめ・やまゆり
式次第（予定）：①認証状授与　②式辞　③写真撮影　④基調講演　⑤交流会（共創ラボ）
出席者（予定）：認証事業所
　　横浜市　副市長　柏崎　誠
　　横浜健康経営認証委員会　委員長　荒木田　美香子氏（基調講演）

※認証式の取材をご希望の方は、３月 24 日（金）12 時までに下記にご連絡をお願いいたします。
健康福祉局健康安全部保健事業課　健康経営認証担当（Tel 045-671-2454 /E-Mail kf-kenkouyokohama@city.yokohama.jp
なお、同日 13 時から同会場２階で開催する「よこはまグッドバランス賞」の表彰式も取材される場合は、その旨ご連絡ください。

認証事業所

クラス AAA：５社
○アクロクエストテクノロジー株式会社　○アマノ株式会社　○向洋電機土木株式会社
○株式会社そごう・西武　西武東戸塚店　○横浜機工株式会社

クラス AA：11 社
○株式会社 ICON　○株式会社アブソルート　○影島興産株式会社　○川本工業株式会社
○特別養護老人ホーム　しょうじゅの里三保　○有限会社鈴木工業　○株式会社立花屋
○株式会社ダッドウェイ　○東宝タクシー株式会社　○有限会社双葉印刷所
○北友建設株式会社／リトルスカラー保育園

クラス A：12 社
○大塚製薬株式会社横浜支店　○株式会社コア・エレクトロニックシステム
○医療法人 IPPO 五條歯科医院　○ジュノー株式会社　○住友生命保険相互会社横浜支社
○株式会社 T&S　○株式会社東洋システムサイエンス　○バイオコミュニケーションズ株式会社
○公益財団法人横浜企業経営支援財団　○公益財団法人横浜市体育協会
○横浜トータルプランニング株式会社　○公立大学法人横浜市立大学

裏面あり

認証制度概要

1　対象の事業所：市内事業所（市内に本社・本店、支社・支店、営業所等を有する事業所）等
　　※ＮＰＯ法人、公益法人等も含む

2　認証区分：次の視点に基づき、横浜健康経営認証委員会(※)の審査を踏まえ、市長がクラスＡ、ＡＡ、ＡＡＡの三つの区分で認証します。

（１）クラス Ａ
　経営者が健康経営の概念を理解し、健康経営宣言等で明文化しているもの

（２）クラスＡＡ
　（１）に加え、健康経営の推進体制の整備、従業員の健康課題の把握、健康行動の取組を実施しているもの

（３）クラスＡＡＡ
　（２)に加え、健康経営の取組結果を評価し、次の取組につなげているもの

※横浜健康経営認証委員会
　市民の健康づくりの指針「第２期健康横浜２１」の推進に係る事項を調査審議する「健康横浜２１推進会議」の委員をはじめ、産業保健や経済分野の専門家で構成される委員会（７名）

3　認証期間：応募の翌年度の４月１日から２年間（更新可）

4　募集期間：平成 28 年 11 月２日（水）から平成 29 年１月 13 日（金）まで

基調講演

横浜健康経営認証委員会からの総評及び職域における健康づくりについて、横浜健康経営認証委員会の委員長である、国際医療福祉大学　荒木田美香子教授にご講演いただきます。

【荒木田　美香子　看護学博士】

【略歴】

1978 年３月	聖路加看護大学衛生看護学部卒業
1983 年４月	お茶の水女子大学附属中学校（養護教諭）
1992 年３月	筑波大学体育研究科健康教育学専攻終了
1992 年４月	ソニー株式会社（保健師）
2008 年	国際医療福祉大学小田原保健医療学部教授
2010 年	健康横浜２１推進会議　委員就任

交流会（共創ラボ）

【共創ラボとは】

行政と民間事業者が同じテーブルに着き、社会課題の解決するためにディスカッションやアイディアの検討などを行う対話の場です。

そこで今回の共創ラボは、健康経営の「実践力」をアップさせることを目的に開催します。

＜ラボで得られること＞

・健康経営を実践する企業の取組事例の共有
・各企業にあった実践原理の発見
・実践アイデアの検討

※「共創ラボ」については、別紙チラシもご覧ください。

お問合せ先
健康福祉局保健事業課健康づくり担当課長　横森　喜久美　Tel 045-671-3376

KYŌSŌ LABO

共創ラボ

横浜市の健康経営に向けた取組み

横浜市は、健康経営の推進や健康関連サービスの創出に向けた、
企業・団体間のオープンネットワーク**「よこはまウェルネスパートナーズ」**をスタートしました。
横浜健康経営認証制度、共創ラボの実施など健康経営を推奨する仕組みが始まりました。

健康経営【実践力】をアップさせるラボ

健康経営実践企業の中でも
「何から始めたらわからない」など課題や、
「明日から出来る取組めるアイデア」が、
あることも分かってきました。

ラボ参加者に、
以下を得て頂けるよう設計中です。

ラボで得られること
・健康経営実践企業のプラクティス共有
・各企業にあった実践原理の発見
・実践アイデア

今回は実践企業が参加しやすいように、横浜健康経営認証式後に開催します。

ラボ参加者は、基調講演に参加できます。

定員50名

参加費無料
事前申込制

定員を超過した場合は抽選となりますのでご了承ください。

平成29年3月27日(月)

会場：ワークピア横浜　かもめ・やまゆり
横浜市中区山下町24-1　http://workpia.or.jp/access_sp/

プログラム（予定）
13:50-14:30　健康経営認証制度認証式
14:30-15:20　基調講演
15:30-17:30　共創ラボ

申込方法　以下Webサイトよりお願いします。
http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/forum/
申込期限：３月22日（水）17時まで
応募後の流れ：
ご応募を受付けましたら、確認メールが自動送信されます。
参加連絡を3月23日（木）までにメールでご連絡します。

KYŌSŌ LABO

どうして横浜市が健康経営をテーマにラボを行うのか？

第1回共創ラボ【健康経営】を
平成28年12月20日に行いました。

様々な民間事業者の方々と行政職員が同じ席に座り、
熱量の高い対話でアイデア作りを行いました。

すぐに取り組める面白いアイデア、
健康経営というコンセプトを、受入れてもらう工夫など、
多くの学びがありました。

アイデアやネットワークの活用次第で、
各企業の中でも健康経営を根付かせることが出来るはず。

わたしたち横浜市は、前回のラボを通じ実感しました。

健康経営を実践する難しさは、各社の組織や風土により「実践する背景が異なること」なのでは？

大企業のベストプラクティスを聞いても、
当社とはちがうから…

実践にあたり、内容比較や自社への落とし込みに
難しさを感じている方が多いことも分かってきました。

ラボは一方通行の話を聞いて終わりではなく、
組織や風土が異なる参加者と対話を繰り返します。

その中で【集合知】【自社の特徴】【実践アイデア】など
自社で取組む方法が見えてくるはず。

分かりやすい簡単なアイデアほど、
コンセプトや構造を伝えることが大切。おとなって難しいですね…

参加者向けのレポートを発行したり、実践に向けて応援します。一緒に健康経営を実践していきましょう！！

【問い合わせ先】 政策局 共創推進課 共創ラボ担当 TEL:045-671-3995 ss-ccfy@city.yokohama.jp

共創ラボとは 横浜市が主催する行政と民間事業者が同じテーブルに着き、ディスカッションやアイディエーションをする対話の場です。